

未来へつながる学びを支援する訪問 報告

数学 三郷市立彦糸中学校

実施日 指導案検討 令和7年10月1日(水)
授業研究会 令和7年10月28日(火)
訪問者 指導主事 會田 浩

指導案検討会

●単元名

相似な図形（第2学年）

●本時の目標

- ・直接には測定できない距離や高さを、縮図を利用して求めることができる。

《思考力、判断力、表現力等》

《授業者の思い・意図》

- ・日常生活に関する内容から興味・関心を深めたい！
- ・グループでの活動を通して、生徒が考えを比較検討する中で、理解を深め、課題解決に導きたい！
- 日常にある現象の理屈を考え、本時の学習につなげる。
- 個人で考えた後、グループでの話し合い活動を設定する。

授業デザイン改善のPOINT

■ 導入場面の工夫

「日常生活の場面」での導入から、現象の理屈を考え、本時の学びにつなげる。

■ グループで共有する時間の確保

「個人で課題について考えた後、グループで話し合い活動を行う時間を増やす。

■ 導入場面と結び付ける

課題解決後に導入場面と結び付ける。

授業研究会

●生徒の変容や今後の課題

- ◎日常からの導入により学習意欲が高まった。
- ◎生徒が課題を自由に考え、グループで共有することで、考えが広がり、深まった。
- ◎習熟を図る適用問題を解き、理解を確かなものとした。
- ▲生徒が活発に考えを共有していたが、話合いの視点を与え、比較検討することで、さらに思考が深まる。



自分の考え→話し合いへ

■ 参会者の声

- ・導入から展開へのつながり、課題とまとめのつながりなどを意識することが大切だと改めて分かった。本時の導入は面白いので、自分もつながりを考えて授業に取り入れたいと思った。目標から逆算して授業を計画して行きたい。（指導案検討会：中学校教諭）
- ・他校の先生方から「こんなやり方もあるよ」と指導方法を提示していただけたことがためになった。今後やってみたいと感じた実践もあるので、実際に授業を行う中で深めていきたい。（授業研究会：小学校教諭）

■ 授業者の声

- ・（指導案検討）グループでの話し合い活動の時間を増やし、他の人の意見を聞き、いろいろな考え方があることを理解したり、自分の考えを深めたりする時間を増やした。
- ・（授業研究会）授業展開について、様々な助言をいただいたり、たくさんの先生方の実践例を聞いたりすることができ、学びが深まった。
- ・（今後に向けて）自分自身の授業のやり方、授業構想から実践までを見直すことができ、これからの授業に生かしていけると思った。貴重な機会であった。